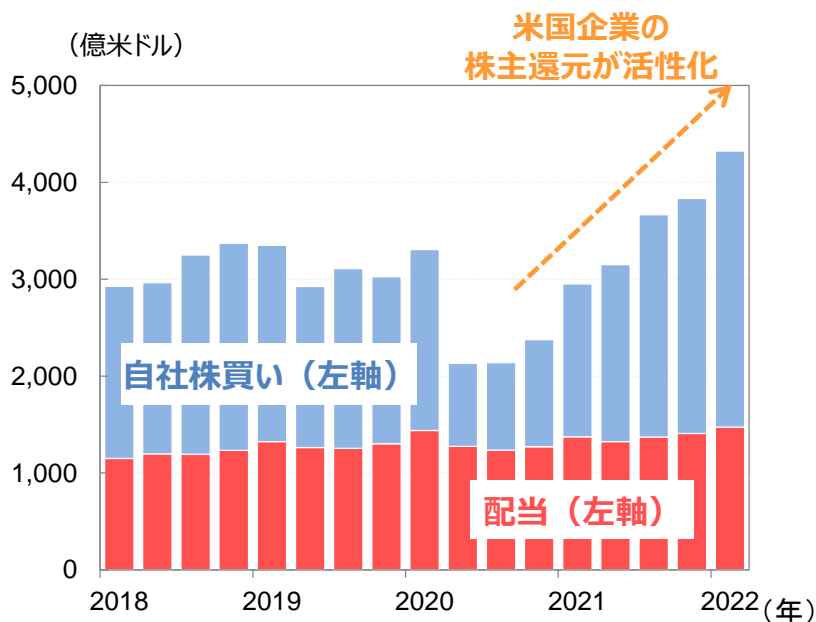




米国企業は株主還元を活性化、配当に着目した米国株ETFへの資金流入拡大

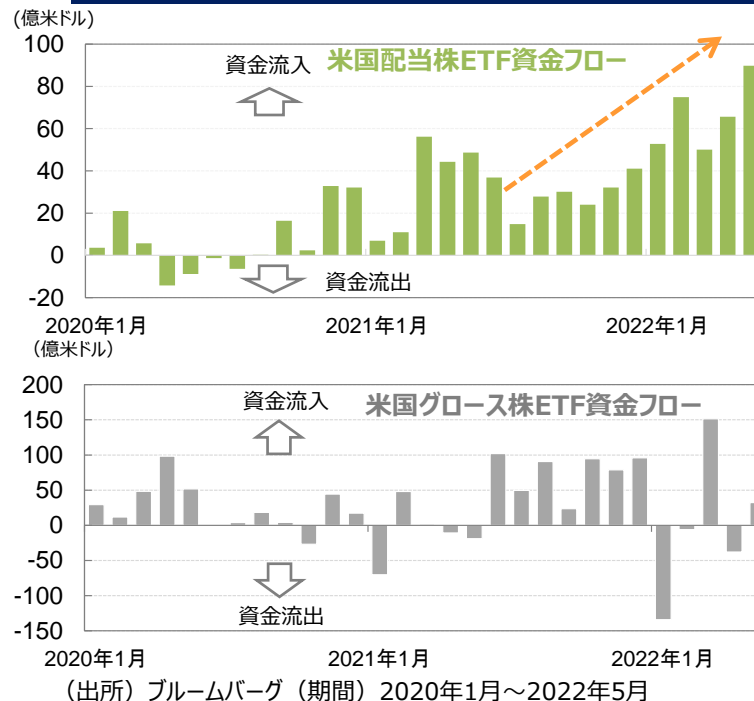
- 米国ではコロナ危機で一時配当や自社株買いが低迷していたものの、経済の正常化に伴い米国企業の株主還元が活性化しています。自社株買い、配当ともにコロナ前の2019年を上回り増加傾向にあります。
- 実際、各ETFのフローを見るとグロース株ETFはマーケットの状況によって資金流出超になる場面もありますが、配当に着目した米国配当株ETFは2020年後半以降、流入が続いています。市場の不透明感が高まる中、相場の乱高下の影響を回避するため、安定的な配当を志向する企業への投資が選好されている模様です。

米国企業の配当・自社株買い実施額の推移



（出所）ファクトセット（期間）2018年1-3月～2022年1-3月期
 ※対象はS&P500指数採用銘柄

各米国株ETFへの資金フロー



米国企業の株主還元（自社株買い/配当）はコロナ前の水準を上回り活性化。米国株式市場の中でも配当に着目した銘柄への資金フローが増加傾向。

次号は
バリュエーションと企業利益から
見る米国高配当株をご紹介します

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。